

平成 30 年度 第 1 回 政策調整会議 会議録②

◆開催日時:平成 30 年4月 20 日(金) 13:41~14:15

◆開催場所:第2委員会室

◆出席委員:小山副市長、土佐副市長、樋口教育長、赤井市長公室長、藤浪企画調整部長、
坂井総務部長

◆審議事項

・岸和田競輪場施設整備計画について……………公営競技事業所⇒承認

◆審議概要

『岸和田競輪場施設整備計画について』

〈説明者〉船橋公営競技事業所次長、岸田担当主幹、乙井主査、安井担当員

〈他出席委員〉福井公営競技事業所長

◎付議依頼書に基づき説明

◎説明後、質疑応答

〈小山副市長〉ワールドマスターズが 2021 年に行われる予定であり、現在 BMX コースは国際基準を満たしていないが、現状のままで行うという認識でよいのか。

〈公営競技事業所次長〉そうである。しかし、観覧席が必要になるため、BMX スペースに設置できるようにとは考えている。

〈市長公室長〉最終計画(第2期計画)ではBMXコースとBMXクラブハウスは隣接していないが、その点についてどうか。

〈公営競技事業所次長〉クラブハウスの規模のようなものは考えていないが、更衣や検車などができるような簡易的な施設の併設は考えている。

〈企画調整部長〉オリンピックのキャンプ地は誘致しないという認識でよいのか。

〈公営競技事業所次長〉国際基準を満たす BMX コースとはならないが、現状のままで誘致は行う予定である。

〈企画調整部長〉最終計画に関してはいつ頃行う予定か。

〈公営競技事業所次長〉近々に行う予定はないが、第 1 期工事が完了し、収益や財政状況を勘案しながら計画していく予定である。

〈企画調整部長〉第 1 期計画では、公園整備を行うものの最終計画ではその公園が当初の3分の1ほどになっているため、公園整備の程度を考える必要があるのではないか。

〈公営競技事業所長〉検討委員会の委員からも指摘があったため、その点については今後検討したい。

〈総務部長〉場外馬券売場がなくなっているが、影響はないと考えてよいのか。

〈公営競技事業所次長〉収支等の試算に入れていないので問題ないと考えていただいてよい。

〈土佐副市長〉本内容で政策決定会議に諮ることとしてよいのか。

【異議なし】

⇒本件、原案のとおり、政策決定会議に付議する。

平成 30 年4月 13 日

政策調整会議付議依頼書

依頼者名 公営競技事業所長

下記事項について、効果的かつ効率的な市政運営実施のための会議の設置に関する規程第 14 条の規定に基づき、下記のとおり付議を依頼します。

記

付議事項名	岸和田競輪場施設整備計画について
付議の目的 (ポイントを絞り込んで、簡潔に記載すること。)	付議事項について、庁内プロジェクトチームで策定した素案を附属機関として設置した「岸和田競輪場施設整備計画検討委員会」で調査・審議の結果、概ね承認の報告書が提出されたため、付議事項についての市の意思決定を図りたい。
説明者	船橋 次長
	岸田 施設管理担当主幹
	乙井 主査
付議事項の概要	様式別紙に記載(必ず別紙様式をご提出ください。)

付議会議	平成30年度 第1回会議
付議事項	岸和田競輪場施設整備計画について

★取組の目的

対象	岸和田競輪場
どのような状態を目指す	お客様や競輪関係者の安全性を確保するとともに、円滑に競輪開催ができることを目指す。 また、公園や緑地の整備により、市民が集える空間形成を目指す。

★総合計画上の位置付け

202020102	基本目標	Ⅱ－2 適正で、分かりやすい行財政運営をする
↑ここにコードを入力 (コードは「総計体系」を参照)	達成された姿	(2)持続可能な財政運営が行われている
	目指す成果	②自主財源が安定的に確保されている
	行政の役割	イ 公営競技事業を健全に運営する

★現状と課題

バンク(競走路)は平成3年に大規模改修し、26年が経過。耐用年数10年を大幅に経過しており、競走における安全性が確保できない状態である。バンクを取り巻くサイドスタンドや選手管理棟等においては、昭和30年代、40年代の建築物がほとんどでお客様、競輪関係者の安全性が確保できない。空調やトイレといった設備も建築物同様、経年劣化が認められる。このような状態では、競輪開催自体が危ぶまれる可能性があり、競輪事業の継続が困難であるため、抜本的な改修等が必要不可欠である。

また、現在のメインスタンド観覧席においては、年配者、家族連れ、女性等のニーズに対応できていないため、集客力が乏しく、集客力向上のためには、観覧席の改修や衛生面の改善が必要である。

そして、現状、競輪場施設内には公園があるものの、利便性が悪く利用者が少ないため、より市民が利用しやすい動線の確保や公園整備を行い、市民貢献に努める必要がある。

(単位:千円)

実施中の取組及び予定する事項		決算(見込額)		予算額	見込額				
		H28年度	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
施設整備に係る設計委託及び工事費(H30予算額は補正計上予定)				6,480	1,347,720	1,504,140	802,340		
財源内訳	国費				7,200	12,600			
	府費								
	起債				1,340,500	1,491,400	555,900		
	一般財源								
	その他			6,480	20	140	246,440		
事業費			計		H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
			3,654,200		1,347,720	1,504,140	802,340	0	0

★当該事項に関連する人員増の必要性※

人員増の必要性		H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
有	無					

★取組の効果を表す指標

	指標名	単位	H28年度	H29年度	H30年度	目標値				
						H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度
①	施設整備による経費削減見込額							2,670	3,858	3,858
②										

※事業費及び人員を確約するものではない。